

市議会だより

28号

平成25年
9月2日

6月定例会

- 2 定例会の概要
- 5 主な質疑応答
- 7 一般質問
- 15 政務調査費の報告

稻庭高原
パークゴルフ場



6月定例会の概要

6月定例会は、6月13日から25日までの13日間にわたり開催されました。本会議と3つの常任委員会において活発な質疑が行われ、市長から提出された条例案と補正予算案の全件の議案を原案のとおり可決しました。

また、2件の請願を審査し、そのうち1件を採択、委員会から提出された条例案1件を可決、意見書など議員発議案3件のうち2件を可決しました。

初日の本会議では、市長から6件の条例案と7件の補正予算案が提出され、提案理由の説明がありました。続いて「二戸市ふるさと振興株式会社の経営状況について」など6件の報告がなされました。また、委員会から提出された「二戸市議会委員会条例の一部を改正する条例」は、同日に原案のとおり可決し閉会しました。

17日と18日には、計9人の議員による一般質問が行われ、二戸市の将来像、感染症対策、観光振興の促進、ごみ処理政策についてなど、市政全般にわたり活発な議論が交わされました。

19日には、市長から提出された条例案や補正予算案、請願などについて質疑のうえ、所管の常任委員会へ審査を付託しました。

20日と21日は、3つの常任委員会において、本会議で付託された案件を詳細にわたり審査しました。

25日の最終本会議では、市長から3件の条例案と7件の補正予算案が追加提出され、初日に提案された条例案や補正予算案とあわせ、全ての議案を原案のとおり可決しました。また、提出された請願は、討論、採決の結果、2件のうち1件を採択、議員から意見書等3件の発議案の提出があり、質疑、討論、採決の結果、2件を原案のとおり可決されました。

【審議結果】

議案番号等	議 案 名 等	審 議 結 果
議案第1号	二戸市福祉医療資金貸付基金条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
議案第2号	二戸市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
議案第3号	二戸市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
議案第4号	二戸市工業等導入促進対策審議会条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
議案第5号	二戸市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
議案第6号	二戸市税外収入金督促手数料及び延滞金の徴収に関する条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
議案第7号	平成25年度二戸市一般会計補正予算（第2号）	可決（全員賛成）
議案第8号	平成25年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
議案第9号	平成25年度二戸市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
議案第10号	平成25年度二戸市生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
議案第11号	平成25年度二戸市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
議案第12号	平成25年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可決（賛成多数）
議案第13号	平成25年度二戸市水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
報告第1号	二戸市ふるさと振興株式会社の経営状況について	報 告
報告第2号	二戸市一般会計繰越明許費の報告について	報 告
報告第3号	二戸市下水道事業特別会計繰越明許費の報告について	報 告
報告第4号	二戸市土地区画整理事業特別会計繰越明許費の報告について	報 告
報告第5号	二戸市水道事業会計予算繰越しの報告について	報 告
報告第6号	二戸市一般会計継続費の報告について	報 告

議案番号等	議案名等	審議結果
議案第 14 号	二戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決（賛成多数）
議案第 15 号	二戸市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決（賛成多数）
議案第 16 号	二戸市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例	可決（賛成多数）
議案第 17 号	平成 25 年度二戸市一般会計補正予算（第 3 号）	可決（賛成多数）
議案第 18 号	平成 25 年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	可決（賛成多数）
議案第 19 号	平成 25 年度二戸市下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決（賛成多数）
議案第 20 号	平成 25 年度二戸市生活排水処理事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決（賛成多数）
議案第 21 号	平成 25 年度二戸市簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決（賛成多数）
議案第 22 号	平成 25 年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決（賛成多数）
議案第 23 号	平成 25 年度二戸市水道事業会計補正予算（第 2 号）	可決（賛成多数）
請願第 1 号	安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める請願書	採択（全員賛成）
請願第 2 号	公的年金 2.5% 削減中止の意見書提出を求める請願	不採択（賛成少数）
発議第 1 号	二戸市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
発議第 2 号	子どもの医療費助成制度に関する意見書	否決（賛成少数）
発議第 3 号	慰安婦に関する発言に対する決議	可決（賛成多数）
発議第 4 号	安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書	可決（全員賛成）

【賛否の公表】

採決で賛否が分かれた案件の採決結果です。

（議席順）

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議員名	高村人司	駒木昇	田村隆博	内沢真申	米田誠	田口一男	菅原恒雄	田代博之	西野省史	小笠原清晃	三浦利章	清川明彬	鷹場美千雄	畠中泰子	田中勝二	大沢孫吉	國分敏彦	岩崎敬郎	田口一	新畠鉄男	及川正信	鈴木忠幸
議案第 12 号	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第 14 号	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
議案第 15 号	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
議案第 16 号	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
議案第 17 号	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第 18 号	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×
議案第 19 号	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×
議案第 20 号	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×
議案第 21 号	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×
議案第 22 号	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×
議案第 23 号	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×
請願第 2 号	×	×	×	×	×	×	○	議	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○
発議第 2 号	×	×	×	×	×	×	○	議	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○
発議第 3 号	○	○	○	×	×	×	○	議	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○

※ 議は議長、○は賛成、×は反対、×は欠席、ーは退席

※ 議長は採決には加わりません。

議案等の主な内容

条 例

① 議案第1号『二戸市福祉医療資金貸付基金条例の一部を改正する条例』から議案第6号『二戸市税外収入金督促手数料及び延滞金の徴収に関する条例の一部を改正する条例』まで、市税の延滞金の割合の改正に合わせ、特例を新たに定めて延滞金の割合を引き下げるものです。

② 議案第14号『二戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例』から議案第16号『二戸市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例』までは、一般職の職員の給与と市長、副市長、教育長の給料を、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間、減額支給するため、それぞれの減額割合などを定めたものです。

補 正 予 算

① 議案第7号『平成25年度二戸市一般会計補正予算(第2号)』から

議案第13号『平成25年度二戸市水道事業会計補正予算(第1号)』の主な内容は、人事異動等に伴う職員人件費の調整(総額60000万円を減額)と、地域の元気臨時交付金による事業費などです。	議案第17号『平成25年度二戸市一般会計補正予算(第3号)』から議案第23号『平成25年度二戸市水道事業会計補正予算(第2号)』は、職員の給与に関する条例等の改正(議案第14号から第16号)に伴う職員人件費の減額(総額3192万円)と、新たに風しんの予防接種に要する費用の一部を助成するための事業費です。
【一般会計補正予算(第2号)】 ○職員人件費 △6091万円 ○シティセールス推進事業(二ユーヨークで日本酒や漆器など二戸市のP.R活動) 570万円 ○自治総合センター「ミニユーニティセンター」の建設などに助成) 2170万円	【一般会計補正予算(第3号)】 ○職員人件費 △2379万円 ○先天性風しん症候群予防接種助成事業 775万円
○産業人材育成事業(産業人材育成研修を市内企業に委託) 2555万円 ○農業集会施設等改修事業(地域の集会施設のトイレの簡易水洗化など) 1604万円 ○消防車両整備事業(消防ポンプ自動車1台と小型動力ポンプ付積載車1台を更新) 2550万円	○請願第1号『二戸市ふるさと振興株式会社の経営状況について』報告第1号『二戸市ふるさと振興株式会社の経営状況について』報告がなされました。

請 願・陳 情

- ① 請願第1号『安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める請願書』は、請願第1号が採択されたことに伴い、県に対し改善等を求める意見書が議員から提出されたものです。

② 請願第2号『公的年金2・5%削減中止の意見書提出を求める請願』《請願者》全日本年金者組合岩手県本部(盛岡市)、同二戸支部(二戸町)

会(盛岡市)

② 請願第2号『公的年金2・5%削減中止の意見書提出を求める請願』

《請願者》全日本年金者組合岩手県本部(盛岡市)、同二戸支部(二戸町)

① 発議第2号『子どもの医療費助成制度に関する意見書』は、岩手県に対し、子どもたちが安心して医療が受けられるよう、乳幼児医療費助成事業の拡充を求めるため、議員から提出されたものです。

② 発議第3号『慰安婦に関する発言に対する決議』は、当市議会として、日本維新の会共同代表・橋下徹大阪市長の、慰安婦に関する発言に抗議し、撤回と謝罪を求めるべきとの意思を表明するため、議員から提出されたものです。

③ 発議第4号『安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書』は、請願第1号が採択されたことに伴い、県に対し改善等を求める意見書が議員から提出されたものです。

主な質疑応答

■議案第7号 一般会計補正予算（第2号）

人材育成と雇用

【問】産業人材育成事業では、どのような種類の事業について人材育成研修の委託を考えているか。また、この研修を受けた人は、その企業で引き続き雇用されるのか。あるいはどこかに就職できる可能性が高まるのか。

【答】現在想定しているのは、大きくは市内の食品製造関係企業、縫製業、地場企業の3つである。また、この事業の内容は、パソコンの基礎研修あるいはコミュニケーション能力の向上、食品関係では食品衛生、品質管理の研修、縫製業ではアパレルCAD等々であり、このような実務研修をしていただき、正式な雇用に結びついていけばと考えている。

にのへブランドの海外発信

【問】シティセールス推進事業は当初予算額を上回る補正であるが、補正の内容は。



二戸市から世界へ (浄法寺塗)

【答】当初予算は、ニューヨークにおいて主に浄法寺塗と南部美人を中心とした展示販売イベントだけを想定したものであったが、今回、展示販売イベントをより効果的に進めるため、在ニューヨーク日本国総領事館大使公邸においてレセプションを開催させていただくこととなり、関係職員の旅費、英字版パンフレットの作成費、レセプション開催委託料など、その関係予算を追加するものである。

【問】前年度と比べ職員の配置数に目立った増減が見られる課があるが、課ごとの人員配置の考え方。

【答】今年度4月の人事異動に向けては、各課等からそれぞれの課題、次年度に向けての目標等についてヒアリングを行っている。人事異動の重要な要素として職員数があると同時に、経験年数やこれまでどのような業務に従事してきたかということなどにも配慮している。また、各課等は実際にどのような人材を求めているのか、どのような人材を入れることによってそれぞの課の組織が活力あるものになっていくのか、そしてこれらについて限られた職員数の中でどのようにして配慮するかということについて心を碎いて今回の人員配置にさせていただいたものである。

【答】できるか十分精査しながら、次の展開を組み立ててまいりたい。

職員の人員配置

【答】の給与を減額支給すること及びその期間について定めることだが、何のために減額するのか。

■議案第14号 二戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【問】この条例の提案理由は、職員

【答】様々な分野の方々のご意見を伺い、今後どういう形で進めていくべき、より当市のPRあるいは特产品的理解を深めてもうつことが、付税と特別交付税の2種類ある。

用語解説：地方交付税

市の財政力に応じて国から交付される使い道が自由なお金。普通

討論

賛成と
反対

■議案第7号 一般会計補正

予算(第2号)

賛成　島中泰子 議員

総合福祉センターの下水道接続費、総合スポーツセンターや保育所等の大規模改修設計委託料、消防車両購入費、仁左平小学校土地購入費など賛成できるものである。しかし仁左平小学校の土地購入に当たっては、体育館付近の雨水排水の問題について、これまでも地元から改善要望が出されており、また、この土地の法面が市道部分に延び、通学路を狭くしていることから、早急に改善が必要である。教育委員会を含め市の誠意ある対応を求める。このほか人事異動に伴う職員人件費の補正については、大幅な職員減により、目的とする事務事業が遂行できるのかという懸念が幾つかの課で見られる。地域を発展、向上させていくその現場の職員を削減していくことについて改善を求め、賛成討論とする。

■議案第14号 二戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

反対　鈴木忠幸 議員

本案は地方交付税削減という圧力の中で提案されているが、これは単なる給与の削減という内容ではなく、地方自治の根源にかかわる問題を大きく含んでいることからすれば、こういう不当なやり方には当市は従わないという、抗議的な対応をすべきだったと思う。今回は国からの要請という形だが、交付税の減額をセットにしていることから、ほぼ強制に近く、許してはならないことである。

また当市の場合、合併時に立てた職員削減目標数を上回るベースで削減しているなど、総人件費からいえば国より非常に努力していることから、さらに国に倣つて減額する必要はないのではないかと思う。

非常に残念なことだが、当市の場合、これらに加え労使合意を得ずに提案し、これもまた人事院勧告によつて決定すべきということに沿わないだけでなく、さらに

給与を決定する場合のルールを逸脱しているということもある。そういうことを理由として反対するものである。

賛成　岩崎敬郎 議員

本条例案は、3月に改正地方交付税法が成立したことを受けたものであり、また同法は公務員給与を本年7月より引き下げるなどを前提に改正されたものである。ただ、総務省は地方固有の財源である地方交付税を人質にとり、地方六団体との協議が十分に尽くされないまま平成25年度地方交付税の減額が決定されたものである。

しかし、この条例を成立させなければ、当市他の事業に与える影響は大である。また、この財源を確保しなければ東日本大震災の復旧、復興にも影響を与えること、今回の措置により当市のラスパイレス指数は99・9まで低下すること、若年層、低給与者には影響を与えることから、苦渋の選択ではあるが、賛成の立場を表すものである。

反対　及川正信 議員

※その他の討論
反対討論　島中泰子 議員

勧告制度を無視するような措置の仕方は、誰が見ても間違いである。

また、地方自治を上から見下ろす、あるいは命ずるという考えは

国からは未だ無くなつていない。そのあらわれが今回の措置の仕方にほつたことは間違いない。国の経済政策を見ても、政府そのものが賃金アップを叫んでいる一方で、地方公務員の賃金は下げるという逆行するやり方は極めてアンフェアであり、私は賛成できないどころか、この点については怒りを感じている。それから、人件費は事業に回すという性格のものではなく、それは絶対にすべきではない。こういうものは議会が良識を持つて判断し否決する。そして行政も、議会が否決したのだからやむを得ないなという関係は、時と場合によってはあり得ると思つてゐる。それが当市のためになるならば、私はそういう方途もあっていいと今でも思つてることを申し上げ、反対討論とする。

市政を問う！！

一般質問

今定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。

二戸市の将来像について



岩崎敬郎 議員

【問】当市の人口減少や少子高齢化の現状について、どのような感想を持つているか。

【答】社会環境の変化により、当市においても若者が少なくなり、その結果、労働力が減少する、高齢者の割合が高くなる、経済活動が停滞するといった悪循環も見られ、まさに人口減少社会に対応した取り組みが、より求められると考えている。

【問】市長は、交流人口の増加を主眼として数々の政策を行ってきたが、ここで定住人口の増加策を早く打つべきではないか。

【市長】定住人口の増加に向け、地域の魅力を高め、そこに人を呼び込み、交流人口を増加させる取り組みを進めることも必要だと考えている。併せて、地域産業の魅力を伝えることで、若者の定住に向けた、就業者の意識を変えるよう取り組みも進めてまいりたい。

【問】このまま人口減少などが進んでいくと、施策の変更や新たな施策、あるいはインフラ整備を一考する必要が生じてくると思われるがどう考えるか。

【市長】将来の人口動向や集落の状況を勘案し、使える施設は修理しながら使い切るなど、また、各種施策や事業についても適宜見直しを行いながら、より適切な形で次の世代につなげるための取り組みを進めてまいりたい。

【問】人口減少などに伴い、国保は財源不足に陥り、あるいは国保加入世帯の減少が考えられるが、今後どうなると予測するか。

【市長】加入世帯の減少以上に加入者の減少が進んでいる。現行制度のままであればこの状態がさらに続くことなどから、新たな手当が必要となるのは確実である。国においても議論が重ねられているが、国保の広域化などの制度改革が必要だと考えている。

【問】人口減少などに伴い産業構造が大きく変化していかざるを得ないと考えるがいかがか。

【市長】「二戸市農業再生協議会」により、農業関係団体と連携を密にし、諸制度の周知に努めるとともに、地域の担い手の方々の意見

を取り込みながら、耕作放棄地の抑制につなげ、元気のある集落の維持支援を行っていく。

また、男子型企業の誘致について引き続き努力するが、新しい産業にも着目しながら誘致活動に尽力していきたい。併せて、商工会等の関係機関と連携しながら商業の振興を図り、地域経済の活性化につなげたい。なお、今年度実施する「石切所にぎわい創出事業」をモデルケースとし、各地域の特色を生かした活性化的取り組みを促進し、農業と同様に地域に密着した商業振興も図っていきたい。

【問】第二次二戸市総合計画をどのように考えているか。これは、間近に迫った市長選挙にどのように取り組むかということと同意語であるがいかがか。

【市長】次期総合計画は、人口減少や少子高齢化など今後的人口推移を踏まえ、各種施策を検討していくことになると思う。市長選挙への取り組みについては、地域づくりや地場産業の振興、各種社会基盤整備など、いま取り組むべき事業や課題に着実に取り組んだうえで、市民の皆様の声を伺いながら、かかるべき時期に自らの意思を明らかにさせていただきたい。

感染症対策について



三浦利章 議員

【問】風しんに対する抗体の有無は抗体検査を受ければ確認できるようだが、検査はどこで受ければいいのか。検査を受ける場合、事前申し込みが必要か。また、対象者に周知すべきと思うがいかが。

【市長】現在は、市内の医療機関の大半で、事前申し込みなしで行っているが、今後、混雑が予想され、現状の対応に変化が生じる可能性があるため、事前に確認のうえ受診願いたい。また、今後については二戸医師会と相談のうえ周知を図りたい。

【問】当市における風しん予防接種の現状はどうか。

【市長】平成17年4月2日以降に出生された方は麻しん風しんの混合ワクチンの接種を行っているが、生後12カ月から24カ月で1回目、5歳以上7歳未満で小学校就学前に2回目の計2回接種になつている。その接種率は高く、平成24年

度は1回目が91・3%、2回目が96・6%である。また、接種時期に体調不良等の理由により接種できなかつた対象者が、その後に接種するケースがあるため、最終的にはさらに高い接種率に落ち着くものである。

【問】今後の取り組みは。

【市長】県の動向、県内市町村の状況、当市の予防接種受診率等を考慮のうえ、ワクチン接種に一定金額の補助をすべく、今議会に予算案を追加提案する予定である。

※ 今議会の最終日に、市長より、成人の風しん予防接種費用の一部を助成するための事業費を含む補正予算案が追加提案され、原案のとおり可決されました。

▼助成の内容は次のとおりです。
(対象期間)
平成26年3月31日まで

(対象者)

二戸市に住民登録している昭和39年4月2日から平成7年4月1日生まれの人

(助成額)

風しん単独ワクチン接種の場合：
3000円
麻しん風しん混合ワクチン接種の場合：
5000円

観光振興の促進について



西野省史 議員

【問】天台寺の改修工事完成時点で、国宝に指定されるよう取り組むべきではないか。

【教育長】近年においては、修理の過程で明らかになつた事実から、修理後に重要文化財から国宝に指定された事例もあることから、このような事例を踏まえ、天台寺の修復事業を支援し、文化財的な価値の高さを証明できればと考えている。

【問】天台寺の境内にある「長慶天皇の御陵」と「土踏まずの丘」に光を当てるべきではないか。

【教育長】現在、天台寺観光ボランティアガイドの皆さんのが現地案内しているが、「長慶天皇陵」「土踏まずの丘」にもご案内いただくなりお願いしてまいりたい。さら

に、今後は浄法寺歴史民族資料館でも「長慶天皇陵」「土踏まずの丘」に関する分かり易い資料を置くなど、「長慶天皇陵」「土踏ま

ずの丘」に対する理解が広がり、今より少しでも光が当たるようにしていきたい。



「土踏まずの丘」の案内板

【問】人が集うようなイベントを仕掛け、活性化につなげるべくと考え、寂聴杯天台寺マラソン大会を開催すべきだと思うがいかが。

【教育長】現段階では、市民の理解と協力を得る一方、二戸警察署をはじめとする関係機関との協議・検討には相当の時間を必要とし、実現に当たつてはハードルが高いものと考えている。

【問】NHKの大河ドラマを実現させる誘致活動として、九戸政実公のドラマ化の署名活動をすることをどのように考えるか。

【教育長】一般、県では、二戸の歴史や風土など地域の魅力の発信に

向けた強力なツールとして九戸政実を活用すべく、仮称「九戸政実プロジェクト」の検討会を開催し、検討事項として九戸政実のドラマ化もプロジェクトの一つとして掲げている。市教育委員会としても、こうしたプロジェクトが軌道にのるよう関係機関、関係部署と連携しながら協力していきたい。

【問】岩谷橋の架け替えについて、橋巡りツアーが訪れるような歴史に残る岩谷橋の実現のため、住民の声に耳を傾け希望に沿う形で取り組む姿勢について伺う。

【市長】岩谷橋の架け替えは、県が事業主体となり、平成21年度に事業着手し、現在のところ平成29年度に完成させたいとされており、ワークショップや景観懇談会を開催し平成23年度に景観計画を策定している。景観懇談会では「石造橋脚の活用」、「橋梁の色彩」、「親柱及び橋詰広場の設置」、「橋梁部の照明設置」など6項目の提言を盛り込んだ岩谷橋景観計画提言書を作成・決定し、県に提出している。したがって、提言に沿った整備が行われるものと思っている。また、これらの提言どおりに整備されれば、商店街や観光の振興に役立つことになると考えている。

人事評価導入について



内沢真申 議員

【問】当市において、市職員の人事評価を導入してはどうか。その取り組みがあるのならば、どのような方法で評価するのか。また、導入に際して問題点は何か。

【市長】昨年度、職員個々の担当業務について一定期間目標を定め、その実績と成果について自口評価を記し、それを担当課長が評価のうえ本人と面談しながらフィードバックする方法で人事評価を試行した。この方法は今後も固定するものではなく、課題や問題点を確認しながら、今後のあり方にについて検証していく。

人事評価を長期的に運用するための制度とするには、多様な職種を十分考慮しなければならないこと、一律の評価指標とならない説得力のある評価軸の確立、評価者による評価の過誤や評価者間の不均衡を回避するための仕組みなどを、十分検討しなければならない。

さうに、市役所が職員に何を期待しているのかを明確にし、何のために何を評価するのかを明らかにしていく必要がある。また、給与制度とも関連し、長期的には人事評価の結果が待遇に連動することが想定されるされることなどから、当市の状況や総合的な人事給与管理の観点から考えるなど、行政サービスの向上を主題として人事管理における評価のあり方について、さらに検討してまいりたい。

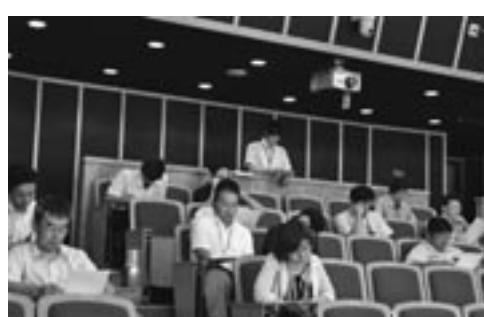
【問】意識改革のための職員研修等はどのような内容のものに取り組んでいるか。

【市長】今年度の長期研修は、被災地支援という形で4名を1年間派遣しており、後期高齢者医療広域連合には継続して派遣している。また、昨年度から文部科学省に1名を、そして新たに今年度から岩手県東京事務所に1名を派遣しており、海外研修として今年度は1名をメキシコに1ヶ月派遣した。

【問】「空き家の対応について」の制度とするには、多様な職種を十分考慮しなければならないこと、一律の評価指標とならない説得力のある評価軸の確立、評価者による評価の過誤や評価者間の不均衡を回避するための仕組みなどを、十分検討しなければならない。



田口一男 議員



部長を講師とした職員セミナーの様子

も、市職員として必要な能力向上など、多くの職員を対象に、幅広く受講機会を儲け、行政サービスにつなげてまいりたい。

このほか県の市町村研修協議会が実施している一般研修や専門研修、地域活性化センターが行う全国地域リーダー養成塾など、対象職員に幅広く受講させている。また、各部長を講師とした職員セミナーを継続実施するなど、今後

空き家対策の検討を進めたい。

【問】空き家は改修すれば社会資本ともなり得る。また、防災、防犯、衛生、景観などから危険な状態のものは解体できるよう法整備を国に求め、市行政でも対応すべきと思うがいかがか。

【市長】空き家の問題は、人口が減少する中で全国的な問題でもあります。今後も国の補助事業の内容等も含め、動向を注視していきたい。また、空き家の管理は所有者又は管理者が一義的に責務を負うことであり、現に著しく危険とされる空き家があるとすれば、地域から実情をお聞きし、所有者などに働きかけながら協力いただくよう要請していきたい。

憲法96条の市長の見解について

【問】市長は憲法第96条の見直しについてどのように考えているか。

【市長】現状の「各議院の総議員の3分の2以上の賛成による発議と、国民投票の過半数の賛成」という定めは、憲法改正のためのハーデルとしては妥当であり、改正の手続きもさることながら、憲法改正の中身や国民的な議論の盛り上がりのほうが重要ではないかと

考へていて。この件についてはよく勉強しながら、注視してまいりたい。

放射能汚染賠償について

【問】当市でも具体的な風評被害があるか、その実態調査は行われているか。また、長期にわたると思われる汚染問題と補償問題についての対応を問う。

【市長】放射性物質に起因する廃牛の処理、牧草等の飼料、シイタケの損害等については、「JAグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策岩手県協議会」(以下「岩手県協議会」と表記)において東京電力に賠償請求を行っており、その中に当市の分も含まれている。たばこ農家の場合は、岩手県たばこ耕作組合が取りまとめ、全国たばこ耕作組合中央会を通じ東京電力に賠償請求を行い、24年度分については賠償金が支払われ、25年度も同様の対応となる。

野菜等については、岩手県協議会により現在検討中のことである。市としても、関係機関との情報共有による対応のほか、産直等において販売される農産物について放射性物質の検査を行うなど、

地元農産物の安全性の確認を行つており、その結果はホームページ、広報により公開している。実態調査については市として直接行つてはいないが、岩手県協議会をはじめとする請求機関と連携しながら農家の対応を図りたい。また、今後も、関係機関との連携により、安全安心な地元農産物の周知を図つてまいりたい。



放射性物質の測定器（市生活環境課）

災害対策基本法改正案と我がまちの取り組みについて



米田 誠 議員

【問】避難所における生活環境の整備について問う。

【市長】市では現在、「避難所の生活環境が常に良好なものとなるよう

災害時要援護者対策の強化・要援護者の名簿義務化の取り扱いと、視覚障がい者対応「地デジ対応ラジオ」の日常生活用具給費事業への取り組みについて問う。

う、その状況把握に努め、必要な対策を講じる」と明記した岩手県地域防災計画の修正内容等を反映させるため、地域防災計画の見直しを進めている。また、災害対策基本法等の一部を改正する法律案の内容について注視しつつ、避難所における生活環境の整備について検討してまいりたい。

ワクチンと検診による子宮頸がん予防について

【市長】定期接種に投与されるワクチンを中心とした予防対策を講じる」と明記した岩手県地域防災計画の修正内容等を反映させるため、地域防災計画の見直しを進めている。また、災害対策基本法等の一部を改正する法律案の内容について注視しつつ、避難所における生活環境の整備について検討してまいりたい。

チジンを中心に、その効果等を保護者に周知しており、今後は、任意接種のワクチン周知についてもさらに努めていく。

小・中学校における脊柱側わん症対策について

【問】脊柱側わん症に関する学校健診の実施状況について問う。

【教育長】市内の小中学校においては、例年4月に行われる学校医による全学年を対象とした健康診断時に、脊柱及び胸郭の異常の有無について確認しているが、それに加え、昭和58年度から、小学5年生と中学1年生の全員を対象として、モアレ写真法による脊柱側わん検診を実施している。

【市長】現在の子宮がん検診は細胞診だが、その受診率は15%～16%代を中心に横ばい状況が続いているため、今後とも受診率の向上に努めていく。HPV検査については、国の事業成果をよく踏まえ、今後対応してまいりたい。

【問】国が推奨するワクチンも含めて国民の不安を取り除くために、国と地方自治体が一体となり、わかり易い情報を発信してほしいが、その取り組みについて問う。



鷹場美千雄議員

二戸市におけるりんご産業の位置づけについて

【問】当市ではどの品種を基本として取り組むのか。

【市長】早生の「きょう」、中生種

の「ジョナゴールド」、晩成種の「ふじ」を主軸推進品種としている。

【問】東日本大震災により東京電力福島第一原発事が発生し、当市からも海外輸出していたりんご「ふじ」が岩手県産ということで台湾から輸入をストップされたが、その後の進展はどうなったのか。

【市長】平成23年度の年度当初の全農いわてでの会議において、検疫が厳しくなっていることや円高の影響、他の安価な輸入リンクによる台湾市場での値崩れで価格が見合わないとのことから輸出を見合せ、輸出向けの栽培を行っていないとのことである。

【問】加工用りんごへの対応はどうなっているのか。

【市長】加工用として出荷されるりんごは、二戸食品と秋田県の加工業者などへジュースや缶詰用として出荷されている。市では、JAや二戸農林振興センター、二戸農業改良普及センターと連携を図りながら、二戸食品へのりんご供給体制について話を進めているところである。

【問】りんごの加工は産業振興の意味からもプロジェクトチームをつくり、ブルーベリーと合わせて加工技術を検討すべきではないか。

【市長】にのへ産業チャレンジ支援事業により、加工品開発や販売等にも対応させていただいている。また、二戸食品のご協力のもと、昨年からブルーベリーの冷凍加工についても試作していただいている。このほかブルーベリーは南部美人でもリキューの加工原料として利用いただいている。加工品については、二戸食品をはじめ市内企業等へ、県と連携を取りながら協議を進めてまいりたい。

【問】今後のりんご産業をどのように位置づけるのか。

【市長】りんごは当市の農業の中でも基軸となる主要品目である。また、

当市は、県内のリンゴ産地の中でも担い手の多い地域との話も受けているので、今後のリンゴ産業のあるべき姿について、生産部会はもちろんのこと、担い手の皆様も交えた形で検討していきたい。



金田一舌崎地区のリンゴ畠

【問】現在、リンゴの改植などには助成措置が講じられているが、団地化、協業化の道は開けないのか。
【市長】今後、JA等関係機関と連携しながら、生産部会や担い手の皆様を交えた形で今後のるべき姿について話し合い、団地化など規模拡大へ向けた計画変更について協議を行う必要がある。また、規模拡大に伴い協業化についても併せて検討してまいりたい。

風しんワクチン接種緊急助成と子どもの医療費助成の拡大を



畠中泰子 議員

【問】風しん大流行の中、母子保健の立場から緊急に予防接種費用全額助成で先天性風しん症候群の発生予防を。

【市長】補助については内部で検討し、今議会に追加提案させていただきたいと考えている。

【問】子どもの医療費助成で県内市町村が次々に拡充する中で、県基準内実施の市は盛岡と二戸のみ。年少扶養控除廃止に伴う子育て世代への市民税増税分を還元し拡充に取り組むのは今だ。

【市長】市としての対応を指示したところであり、現在検討中である。

また、今回の検討に当たっては、

単に医療費の助成ということではなく、子育て支援としての検討もしたいことから、子育て支援関連の方々の意見を聞く機会も予定してあります。その中でも意見、ご要望をいただきながら、さらに検討してまいりたい。

実効性ある男女平等の取り組みと女性の声が生かされる市政

望をいただきながら、さらに検討してまいりたい。

なお、年少扶養控除廃止に伴う個人市民税の増税分は、国からの通知もあり、今年度は子宮頸がんやヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種や妊婦健診等、すでに子どもを対象とした事業に活用しており、新たな財源として活用できる状況ではないことをご了承願いたい。

学校給食の地産地消や学校給食の安全重視の地域づくり

【問】市役所本庁舎耐震改修工事にあたり、議会（本庁舎3階）に男女別トイレ設置の常識的要望にもかかわらず、議会のトイレは男性専用で女性用は無しにすることは女性差別。議会の独立の尊重、建物設計の基本思想、男女平等、男女共同参画意識の欠如だ。わずか13m²のトイレのスペースが確保できないのか。スペース、配管、使用頻度を理由にすることは納得できない。今後再検討のうえ、女性用トイレを設置し、将来に禍根を残さないようにすべき。

【市長】男女共同参画の理念と女性差別とは別問題であり、男女共同参画に反するものではないと考えています。

ている。階段の上り下りなど多少の不便はあるが、スペースや機能性、快適性を確保しながら、経済的に最も現実的な案だと考えている。配置については、議員や職員、来庁者の利用頻度を総合的に考え3階を男性用、4階を女性用としたものである。現状で考えられる最も効率的な解決策であることをご理解いただきたい。

【問】6月から板橋区の学校給食へ材料の供給が開始されているが、生産地である地元の子どもたちはそれを食べられないという逆転現象はあってはならない。市学校給食のさらなる地産地消や食の安全を重視した地域づくりを進める必要があるが、そのための対策は。

【市長】今年度は、学校給食で1日全ての献立を二戸産の食材で作る「オール二戸給食」という企画を予定している。また、今後も学校給食への食材供給体制の強化として、求められる農産物の生産のため、土壤診断費を助成するなど、関係機関と連携し支援していく。

また、市内農産物の一次加工品の

地産地消の推進を図るため、市産業振興部内はもとより、関係機関及び市内の食品加工業者と連携しながら、生産、出荷体制の構築に向け引き続き取り組んでいく。【教育長】学校給食センターでは、地元食材の活用に最大限に努めている。今後地産地消率を高めるための対策として、農林課、生産組合、加工グループ等との作柄情報等の連絡を密にし、納品作物の品数を増やせるよう努力するとともに、安全、安心な給食の提供に心がけていく。



及川正信 議員

【市長】ごみの減量化については、廃棄物の発生自体を抑制することと、一旦使用された製品を再使用することに市民の理解を深めながら協力を得たいと考えている。併せて、きちんと分別整理されたりサイクル資源については有価物として処理していくべきとの考え方から、今後その取り扱いについて検討してまいりたい。また、新しい資源回収団体の発掘、育成と協働への取り組みなど、他自治体の事例も参考にし、分別の徹底と住民主体の担い手育成をごみ減量化の柱として取り組んでまいりたい。

【市長】同組合は久慈・二戸地区のごみ処理施設の集約化と、その運用を目的とした組合であり、それの現有施設を使用しながら、新施設の整備については引き続き協議することとなり、当面、組合

【問】ごみの分別のあり方と生ごみの扱いなど、当市独自のごみ減量化方式を市民協働の一つと位置づけ、広く検討する必要があると思うがいかがか。

【答】ごみの分別のあり方と生ごみの扱いなど、当市独自のごみ減量化方式を市民協働の一つと位置づけ、広く検討する必要があると思ふがいかがか。

とを市民の皆様で認識し、既存の施設を長く使い続けるためにも、もと解散方針に至ったものである。責任の所在については、組合の解散事務手続きと各構成市町村との調整をしっかりと進めていきながら、8市町村共通の認識のもとに検証を行い、市民に説明していく必要があると考えている。

リサイクルごみステーション



九戸城を活かすための整備と活用計画について

【問】用地取得が終了するまでの間、地権者にご協力をいただき借り地化とし整備に入るべきでは。

【市長】現在残されている対象地には補償対象家屋が含まれており、

借地化することは非常に困難だと考えられる。また、借用の是非にかかわらず、文化庁の補助事業として施工できない国史跡の環境整備事業を進めるには、ある程度まとまった範囲での実施計画についての国の認可が必要であり、単発的な整備は許可されない状況だと認識している。

城跡全体の整備計画はどうなっているのか。

【市長】平成2年に整備基本計画が策定されている。遺構の復元整備においては、これまで本丸跡及び二ノ丸跡の内容確認調査を実施しており、今後、調査結果の取りまとめを進め、遺構復元整備はもとより、順路や駐車場といった活用を含めた全体の整備計画案を早急に立案すべきと認識している。

【問】九戸城へのアクセス道はどうあるべきか。検討委員会を立ち上げ、展望を持った計画策定が急がれるべきと思うが見解を問う。

【市長】史跡九戸城址整備指導委員会からの助言のもと、市教育委員会が作成する全体整備案を受け、その後検討委員会を設けるなど、関係機関等とアクセス道についての協議を進めていくべきものと考えている。

平成25年第2回臨時会

平成25年5月30日に第2回臨時会
が召集され、次の8議案全てが承認・
可決されました。

【専決処分の承認】

議案第1号 「二戸市税条例の一部を
改正する条例」

議案第2号 「平成24年度二戸市一般
会計補正予算（第12号）」

議案第3号 「平成24年度二戸市国民
健康保険特別会計補正予算（第5
号）」

議案第4号 「平成24年度二戸市下水
道事業特別会計補正予算（第6号）」

議案第5号 「平成24年度二戸市土地
区画整理事業特別会計補正予算（第
6号）」

議案第6号 「平成24年度二戸市後期
高齢者医療特別会計補正予算（第2
号）」

議案第7号 「二戸市役所本庁舎耐震
補強及び大規模改修工事（建築）の
請負契約の締結について」

議案第8号 「府金橋橋梁補修工事の
請負契約の締結について」

○請負者 (株)丹野組

○請負者 (株)中館建設

【審議結果】

**議案第6号と議案第7号は「賛成多
数」、そのほかは「全員賛成」**

【賛否の公表】

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議員名	高村人司	駒木昇	田村隆博	内沢真申	米田誠	田口一男	菅原恒雄	田代博之	西野省史	小笠原清晃	三浦利章	鷹場美千雄	畠中泰子	田中勝二	大澤孫吉	國分敏彦	岩崎敬郎	田口一	新畠鉄男	及川正信	鈴木忠幸	
議案第6号	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	○	—	×	○	○	○	○	○	○	○	
議案第7号	○	○	○	○	○	×	議	○	○	○	○	×	—	×	○	○	○	○	○	×	○	

一般質問のラジオ放送

カシオペアFM (周波数77.9MHz)

各定例会の一般質問を録音し、カシオペアFMより放送しております。放送は、定例会期間中及び定例会終了後に各1回放送します。詳しい放送日程は議会事務局またはカシオペアFMにお問い合わせください。

※次回の放送は9月定例会中と9月定例会終了後に放送する予定です。

【問い合わせ先】議会事務局 23-3111（内線411・412） カシオペアFM 23-8779

**請願・陳情を
するには**

市政に要望がある時は、市議会に請願書や陳情書を提出することができます。

【請願と陳情のちがい】

- 請願は、紹介議員の署名または記名・押印が必要です。
- 陳情は、紹介議員を必要としません。

【請願・陳情の取扱い】

- 請願及び市内の方が提出した陳情は市議会で審査し、採択の場合は関係機関へ送付します。
- 市外の方からの陳情は、市議会で議員に配布いたします。

【記載していただく事項】

- ① 提出年月日
- ② 提出者の住所・氏名（団体の場合は名称、代表者の住所、氏名）・押印
- ③ 請願・陳情の要旨、理由
- ④ 請願の場合は、紹介議員1名以上上の署名または記名・押印

平成 24 年度 政務調査費 の 報告 です !

政務調査費は、議員の市政に対する調査研究のために必要な経費の一部として、議員 1 人当たり月 1 万円（年額 12 万円）が交付されるものです。

なお、平成 24 年地方自治法の改正により、平成 25 年 3 月 1 日から「政務調査費」は、「政務活動費」と改正されました。政務活動費は、これまでの政務調査費の対象となっていた議員が行う調査研究、研修、公聴広報、市民相談の活動などに要する経費に加え、新たに要請・陳情活動に要する経費が対象になり、それらの経費の一部として交付されるものです。

【平成 24 年度政務調査費執行状況（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月）】

(単位 : 円)

議員名	交付額 (①)	支出額計	精算額 (②)	残額 (①-②)	主な支出事由
高村人司	120,000	121,154	120,000	0	調査旅費、資料作成費ほか
駒木昇	120,000	117,158	117,158	2,842	調査旅費、広報料ほか
田村隆博	120,000	46,848	46,848	73,152	調査旅費、資料購入費ほか
内沢真申	120,000	124,330	120,000	0	調査旅費、広報料ほか
米田誠	120,000	37,301	37,301	82,699	資料作成費、資料購入費ほか
田口一男	120,000	109,229	109,229	10,771	調査旅費、広報料ほか
菅原恒雄	120,000	122,441	120,000	0	調査旅費、資料購入費ほか
田代博之	120,000	115,902	115,902	4,098	調査旅費、資料購入費ほか
小笠原清晃	120,000	129,979	120,000	0	調査旅費、資料購入費ほか
三浦利章	120,000	119,181	119,181	819	調査旅費、広報料ほか
清川明彬	120,000	125,515	120,000	0	調査旅費、資料作成費ほか
鷹場美千雄	120,000	45,199	45,199	74,801	調査旅費
畠中泰子	120,000	124,497	120,000	0	資料作成費、資料購入費ほか
田中勝二	120,000	121,536	120,000	0	資料作成費、資料購入費ほか
大沢孫吉	120,000	112,552	112,552	7,448	資料作成費、資料購入費
國分敏彦	120,000	103,770	103,770	16,230	研究研修費、調査旅費ほか
岩崎敬郎	120,000	133,220	120,000	0	調査旅費、広報料ほか
田口一	120,000	112,572	112,572	7,428	資料作成費、広報料ほか
新畠鉄男	120,000	76,779	76,779	43,221	調査旅費
及川正信	120,000	123,800	120,000	0	資料購入費、事務所費ほか
鈴木忠幸	120,000	108,151	108,151	11,849	資料購入費、広報料ほか
合計	2,520,000	2,231,114	2,184,642	335,358	

※西野省史議員からは、交付申請はありませんでした。

※1人当たり交付額の 120,000 円を超える支出については自己負担となっています。

※残額については、各議員より二戸市の歳入に返還されます。

訂正とお詫び

平成25年6月17日発行の「にのへ市議会だより（第27号）」8ページに掲載の「人事案件」（教育委員の選任）について、お名前を「佐々木晴彦」氏と掲載いたしましたが、「佐々木春彦」氏の誤りでした。訂正し、「」本人並びに関係各位へ心よりお詫び申し上げます。

議員表彰

去る5月22日に東京都で開催された第89回全国市議会議長会定期総会において、議員在職20年以上及び同10年以上の表彰が行われ、次の2名の議員が受賞されました。

- ▼議員在職20年以上表彰
○ 米田 誠 議員
- 新畑 鉄男 議員

議会活動のお知らせ

（5月から7月）

○6月10日

- ・「いわて市議会基本条例検討特別委員会」

○6月8日

- ・平成25年第2回臨時会
- ・産業建設常任委員会

○6月4日

- ・議会だより編集委員会

○6月5日

- ・文教福祉常任委員会

○6月13日～25日

- ・平成25年第2回定例会

・一般質問（17日・18日）

・本会議（19日）

・常任委員会（20日・21日）

・本会議（25日）

・県境産業廃棄物不法投棄事案

支所の一階ホールでもトレーニングを見ることになりました。

※6月定例会の傍聴者は23名（延べ人数）でした。

市議会会議録をホームページで公開

定例会（本会議、予算・決算特別委員会）と臨時会の会議録を市のホームページ上で公開しています。

▼市ホームページ、「いわて市議会」から「会議録検索システム」へ▲

※平成18年以降（市町の合併以後）の会議録を公開しています。

議会を傍聴してみませんか

本会議は、受付簿に記入するだけで傍聴できます。

また、市役所及び浄法寺総合支所の一階ホールでもトレーニングを見ることになります。

議会だより編集委員会

表紙の写真

「稻庭高原パーク「ゴルフ場」が7月28日にオープンしました。プレーの後は「天台の湯」でゆっくり汗を流すのもいいですよ。

編集後記

今年の夏は暑い。梅雨がスッポリ抜けた感があります。お盆も終わり、例年であれば秋風が立つてこの季節ではあるが、全国的に猛暑だ。
ひるがえ 翻って、参院選が終わり、国政は今や消費税の動向とTPPの動きだと思える。特にTPPに関しては、我市の農業に直接関わりを持つだけに注視すべきである。あまり騒いでいるが、保険業界や労働界の問題に、より多くの外圧が生じてくるのではないか! 外圧に腰が引けているから変更である。